

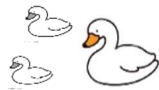


# ハリー通信 Vol.28



〔目次〕



- P1 表紙・ふるさと環境体験ツアー 「あびき湿原観察会」 写真
- P2 ふるさと環境体験ツアー 「あびき湿原観察会」
- P3 不法投棄防止地区の活動紹介 「小野市中谷町地区」「加東市下滝野地区」
- P4 生物多様性保護活動 「加西市 ねひめ白鳥の会」
- P5 環境学習「昆虫大捜査線」・「水の中の生き物 大発見」
- P6 令和2年度北播磨地域 地球温暖化防止活動推進連絡会 総会  
寄稿 北播磨地域 地球温暖化防止活動推進連絡会推進員 松本 弘氏
- P7 第20回環境美化教育優良校 「西脇市立西脇中学校」
- 新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのご家庭でのゴミの捨て方
- P8 古くなった浄化槽が増大しています。あなたの家の浄化槽は大丈夫？  
ハリー通信がインターネットで見られます
- 
- 







北播磨地域の豊かな自然環境を地域の子供たちが体験することにより、北播磨地域の環境保全への関心を高めるとともに、自然環境がもたらす豊かな恵みを体感し、ふるさと北播磨への郷土愛を育むことを目的に『ふるさと環境体験ツアー』を開催しました。

令和2年3月に兵庫県指定天然記念物に指定された県下最大級の規模で希少動植物の多様性を誇る、加西市あびき湿原での観察会です。



8月30日。加西市網引町の南網引町公会堂に小学生親子が集まりました。

あびき湿原保存会の山下会長のお話の後、観察班と説明班に分かれ、交代で観察会がスタートしました。

講師はあびき湿原保存会会員の方々です。



まず観察班があびき湿原に出発。途中にある植物の名前や特徴を講師から聞きながら、楽しく歩きました。

あびき湿原の入口で、外からの種等を持ち込ませないため、小川で靴底を洗いました。そして湿原の中の木道を歩きながら、植物や生き物を観察しました。



サギソウ、ツマグロヒョウモン、ヒメアカネ、シオカラトンボなどを見つけました。夏から秋へ少しずつ季節が動いていると感じました。



左からサギソウ  
ツマグロヒョウモン、ヒメアカネ、  
シオカラトンボ

約1時間の観察のあと、南網引町公会堂に戻って、山下会長から説明を聞きました。

「8年前までの湿原は荒れていたが地元の方が保全活動を始め、今では貴重な動植物が観察されるようになった。ぜひ季節ごとに変わるあびき湿原に来ていただきたい。」とのことでした。

あびき湿原に初めて来た、三木市から参加のお父さんは「自然そのまま、最小限の人の手が入っていると感じました。また違う季節に來たいと思います。」と話されていました。

あびき湿原保存会の方々のご協力により、有意義で楽しい時間が過ごせました。



## 不法投棄防止地区の活動紹介 ～小野市中谷町地区

小野市中谷町地区は小野市の北東に位置し、加東市と境界を接しています。南側にはゴルフ場が広がり、山の谷間に田園風景が広がっています。

ここにはかつて赤松氏の家臣、依藤氏の豊地城があり、ほ場整備に伴う調査で溝、柱穴、石敷、遺構などが確認され現在も堀跡が残っています。

この地区では不法投棄監視中の看板を設置したり、定期的に清掃を行っており、地区内を通る県道の脇に捨ててあるペットボトルやビニール袋などは一斉清掃の際に取り除いていました。

しかし、7月に谷の奥の川に大量のたたみの不法投棄が発見されました。



現場の近くで農作業をされている方が発見され、すぐ区長や不法投棄防止推進員に連絡。区長の依頼を受けた市役所により、投棄物は処分され、後に看板が設置されました。

「見つけるのが難しい場所が多いので、今後も見回りをするなど地区のみんなで注意をしています。」と松井区長が話されていました。

## 不法投棄防止地区の活動紹介 ～加東市下滝野地区～

加東市下滝野地区は加東市の西側で、加西市と接する場所に位置します。兵庫県立播磨中央公園にも隣接しています。

JR 加古川線が近くを通り、通勤通学に便利な土地柄、集合住宅がたくさん建ち、昔からの住民の方々と新しく来られた方々が共に住んでいる地区です。

一斉清掃や見回りなど、定期的に環境美化活動をしていきますが、山あいの林の中に電化製品などの不法投棄がたびたびあり、その都度市役所に処分を依頼しています。



また、集合住宅の中で、分別されていないため回収不可のゴミが出たり、回収日を守らずにゴミを出すなど、ルールを無視したゴミ出しがあり、困っているそうです。

さらに転居時に不要になった電化製品・家具などを集積場に放置する方もおり、市役所に処分をお願いしたり、役員の方々が清掃センターに運んでいるとのことでした。



『ゴミの出し方のルールを守ってほしい』とチラシを作って配ったり、集積場所の見回りをするなど、阿江区長をはじめ、役員の方々が力を合わせて住みよい地域作りに努力をされていると感じました。



## 団体の取り組み

## 生物多様性保護活動 加西市 ねひめ白鳥の会



私たちが住む北播磨地域には毎年冬になるとシベリアから白鳥の群れがやってきます。  
写真愛好家を中心に加西市に飛来した白鳥の保護活動と環境学習を行っています。



保護活動では播磨地方には数千のため池がありますが、白鳥は限られた平池にしか来ません。

そこで加西市役所や地域住民の方々と調整を行い、安心して飛来する環境を整えようとしています。

白鳥は、自然の池に生える草根、稲刈り後の稲穂などを餌にしていますが、不足分は市販の餌を与えています。



また、播磨地方に飛来する白鳥について、福崎町、加西市、小野市の白鳥保護団体で情報ネットワークを築き、情報を共有しています。

リスク対応としては、多くの観光客がため池に集まることで池の堤や法面が傷むため、橋を架けたり法面の保護をしたり、日々の野鳥観察を通じて野鳥の異変を早期発見し、鳥インフルエンザなど感染予防にも取り組んでいます。

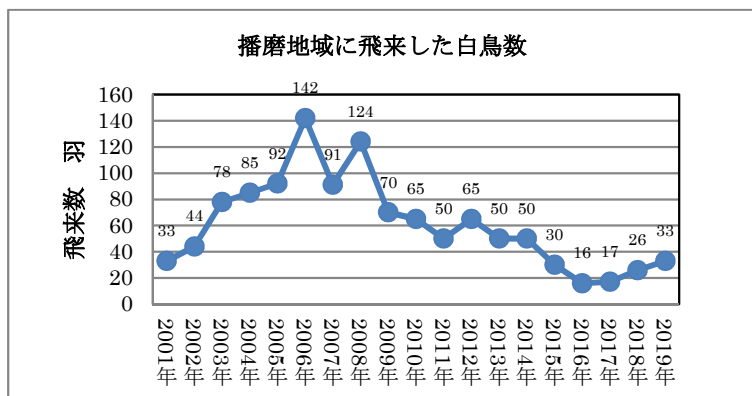


足輪がついている鳥の登録番号を山階鳥類研究所に送るなど追跡調査に協力しています。

環境学習では、平成20年度から小学3年生を対象に数千kmの長旅を経て、白鳥の姿から「家族の絆」「生きる、生き抜く力」を五感で感じてもらえる授業を飛来池や公共施設の会議室をお借りして、子ども達とともに学んでいます。



播磨地方には希少な野鳥も多く、自然豊かな地域です。  
みなさんといっしょに守っていきましょう！



(ねひめ白鳥の会調べ)



毎年コウノトリも来てますよ！



# 昆虫大捜査線

ひとほくの昆虫博士といっしょに



(公財)兵庫県園芸・公園協会主催の「昆虫大捜査線」は兵庫県内のいろいろな場所で、みんなで自由に色々な虫を捕まえ、名前や生態を調べてみよう!というイベントです。



6月27日、令和2年度の第1弾が、播磨中央公園(はりちゅう)で実施されました。

今年は新型コロナウイルスの影響で実施方法を時間差をつけ各回20名に絞るという方法がとられました。

講師は「兵庫県立人と自然の博物館」の昆虫博士・八木 剛 先生です。



「虫は夜行性なので、昼間はじっとしている。あまい木(どんぐりの木など)を探して木を蹴ると落ちてくることがある。」などのお話しのあと、いよいよ「昆虫さがし」開始です。



1時間の大捜査の結果、たくさんの種類の虫が捕まり、それを種類に分けて観察しました。



家族で参加されたお母さんは「今回で3回目です。子ども達が虫が好きで、家族で参加しています。楽しいので次回も参加しようと思っています。」と話されていました。昆虫博士と楽しい時間を過ごすことができました。

## 水の中の生き物 大発見! ~小さな生き物を顕微鏡で見よう~

三木自然愛好研究会

6月20日、三木自然愛好研究会主催の「水の中の生き物 大発見! ~小さな生き物を顕微鏡で見よう~」という環境学習イベントが開催され、会場の三木市細川町脇川の教海寺に、大人と子ども17名の参加者が集まりました。

はじめに三木自然愛好研究会の北村理事長より、「コロナウイルス感染症の影響で、たくさんの行事の中止が続いた。今日はこのイベントが開催できて良かった。」とのお話がありました。

そして水の中の生き物探しに出発!

教海寺のお堀を見に行くと、去年はたくさんあった水草が今年はほとんど無くなっていました。繁殖したザリガニが原因のようです。



脇川川では、子どもも保護者も川の中に入り、熱心に生物採取をする姿が見られました。捕まえた生き物をケースに入れて「見て見て!」と見せに来る子ども達の嬉しそうな顔が印象的でした。



教海寺に戻って、プラナリア、ツツトビケラ、ミズムシなどを実体顕微鏡で、また、池のプランクトンやシャジクモの原形質流動を顕微鏡で観察しました。



三木市から参加されたお母さんは「久しぶりの我が家のイベントです。サカナやプランクトンなど、水の中にたくさんの生き物がいることを知りました。楽しかったです。」と話されていました。「自然保護の大切さ」が感じられる環境学習でした。





## 団体の取り組み



令和2年度 北播磨地域

## 地球温暖化防止活動推進連絡会 総会



7月13日、兵庫県社総合庁舎において、令和2年度北播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会総会が開催されました。

兵庫県温暖化対策課をはじめ管内の市町など関係行政機関から、令和2年度の地球温暖化対策関連事業の説明がありました。

地球温暖化により気温や海面温度が上昇し、予想出来ない規模の災害が起きていることから、今年度もイベント等を活用し、北播磨地域地球温暖化防止活動推進員と行政機関が協働で「地球温暖化防止」の普及啓発に務めることを確認しました。



### 寄稿

北播磨地域 地球温暖化防止活動推進員連絡会 推進員  
松本 弘



地球温暖化が影響していると言われている昨今の大雨洪水や巨大台風の災害発生に、若者たちは「今の大人は温暖化対策を何もしていない」と言う。

一方で、大人たちは電気自動車の導入、食品廃棄物の監視、再生可能エネルギーの導入など、いろいろな手段を講じていると述べて、「若者はもっと経済を学ぶべきである」と言っている。

50年、100年先のあるべき姿に向けて、今できることを大人が担い、将来を担う若者が引き継いでくれることを期待している。

私の勤務時代は船舶用ディーゼル機関の生産に従事し、ディーゼル機関がもたらす大気汚染を防止するため、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）、硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）、排気ガス粒子状物質（PM）の削減に努めた。

退職後は平成24年4月から地球温暖化防止活動推進員の一員として、北播磨地球温暖化防止活動推進員連絡会（通称：北はりエコ）に参加。「北はりエコ」は5市1町の会員が互いに連携し地球温暖化防止活動を推進している。

さらに私は居住している三木市に「エコ三木」を構成して、市内の子ども達を対象に出前環境教室の開催、また地域の文化祭やイベントに出展して地球温暖化防止の啓発を続けている。

最近マスコミも地球温暖化問題を取り上げ、情報発信する機会が増えていることから、この機運を生かした地球温暖化防止活動推進員のこれからの活動がますます重要になってくると思っている。



北はりエコの活動  
「三木市金物祭り」



環境物づくりイベント



出前環境理科教室



## 西脇市立西脇中学校が選ばれました

公益社団法人食品容器環境美化協会が、独創的な環境美化教育に継続的かつ熱心に取り組み、地域社会と連携しながら「公共の場所の環境美化」や「飲料あき容器のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小中学校等を「環境美化教育優良校」として毎年表彰しており、第20回環境美化教育優良校に西脇市立西脇中学校が選ばれました。受賞校数：全国で35校（最優秀校4校、優秀校協会会長賞6校、優良校協会会長賞25校）



西脇中学校では、十数年来、全学級の代表らで構成する福祉委員会と生徒会が中心となり社会貢献活動の一環として、アルミ缶回収などのリサイクル活動を全校生に呼びかけ、実施しています。



そしてアルミ缶を換金して老人ホームなどに TENT を寄贈したり、ペットボトルのキャップを子ども達のワクチンに代えるため、回収活動に寄与したりしています。

さらに平成30年度からはボランティア活動を主活動とする文化部「ベンチャー部」を創設し、西脇中学校区内を中心にリサイクル活動や清掃美化活動を行い、活動の幅を広げています。



地域への環境美化への貢献は、ベンチャー部だけではなく全校生徒で学校区内で行われる「多可・西脇新人駅伝大会」や「校内マラソン」開催前の地域環境美化活動を行っています。



また、1年生が春の遠足の際に生徒達で自らゴミ拾いをしながら目的地まで歩くなど、環境美化に対する意識の変化が見られるようになり、全校生で地域の「美」を守る取組を行ってきた成果が現れてきています。

西脇中学校福祉委員会の皆さんは「これまで以上に活動を活発にしていきたい」と話していました。

## お知らせ

## 新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのご家庭でのゴミの捨て方



## — 家庭ごみを出すときに心がける5つのこと —

- その1 ごみ袋はしっかり縛って封をしましょう!
- その2 ごみ袋の空気を抜いて出しましょう!
- その3 生ごみは水切りをしましょう!
- その4 普段からごみの減量を心がけましょう!
- その5 自治体の分別・収集ルールを確認しましょう!

## 新型コロナウイルスなどの感染症の感染者又はその疑いのある方の使用済みマスク等の捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方がご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下のことを心がけてごみを出しましょう。

①ごみ箱にごみ袋をかぶせ、  
いっぱいにならない  
ようにしましょう!

ごみは、いっぱいになる  
前に早めに出しませう。



②ごみに直接触れること  
のないよう、しっかり縛って  
出しましょう!

ごみは、空気を抜いてからし  
っかり縛って出しましょう。  
万一、ごみが袋の外面に触れ  
た場合や、袋が破れている場  
合は袋を二重にしましょう。



③ごみを捨てたあとは  
しっかり手を  
洗いましょう!

石けんを使っ  
て流水で  
手をよく洗い  
ましょう。





## お知らせ



古くなった浄化槽が増大しています  
あなたの家の **浄化槽** は大丈夫ですか？



## 保守点検・清掃・法定検査の「決まり」を守ろう！！

浄化槽の機能を十分に発揮させるためには、正しい使い方とともに適正な維持管理が欠かせません。

維持管理を適切に行わないと、汚れたままの水が流れ出てしまうなど水質の悪化や悪臭の原因となります。

浄化槽が本来の機能を発揮するために、保守点検・清掃・法定検査の「決まり」を守りましょう。

※保守点検・清掃・法定検査を実施することが法律（浄化槽法）で浄化槽設置者に義務づけられています。

《保守点検》 年3回以上※  
装置の調整・修理・清掃時期の  
判断等（浄化槽の機能維持）



1年間に必要な  
浄化槽の維持管理



《清掃》 年1回以上※  
汚泥の引き抜き・付属機器類の  
洗浄掃除等  
（浄化槽の機能回復）

保守点検と清掃の回数は処理方式等により異なります  
のでお問い合わせ下さい。

《法定検査》 毎年1回※  
保守点検や清掃がきちんと行わ  
れているか、正常に働いている  
かなどを総合的に検査  
（浄化槽の機能確認）

保守点検と清掃の決まりを守  
らないと法定検査で**不適正**と  
なります。

○注意：年に数日しか使用しない別荘等でも維持管理が必要です。

●兵庫県知事指定浄化槽検査機関

一般社団法人 **兵庫県水質保全センター**

TEL 078-306-6020(総務課) 078-306-6021(浄化槽検査課)

ホームページ: <http://www.hyogo-suishitsu.jp>

兵庫県農政環境部環境管理局環境整備課 監修

維持管理・検査に関するお問い合わせは



## ハリー通信がインターネットで見られます

平成17年の創刊号から、最新の28号までのハリー通信を  
インターネットで見ることができます。ぜひ、ご利用ください。

「北播磨県民いきいき情報」を入力し、検索してください。

兵庫県北播磨県民局 県民交流室 環境課

電話0795-42-5111（内線341）

FAX0795-42-7535



（目次）  
01 県民・市民 北播磨県民いきいき情報「エコアクション21」  
02 「北播磨県民いきいき情報」の活用  
03 北播磨県民いきいき情報「エコアクション21」の活用  
04 北播磨県民いきいき情報「エコアクション21」の活用  
05 エコアクション21の活用  
06 北播磨県民いきいき情報「エコアクション21」の活用  
07 北播磨県民いきいき情報「エコアクション21」の活用  
08 北播磨県民いきいき情報「エコアクション21」の活用  
09 北播磨県民いきいき情報「エコアクション21」の活用  
10 北播磨県民いきいき情報「エコアクション21」の活用